



最近は上松も日中暑い日があり、夏が近づいてきたなと感じる気候になってきました。
5月中旬から現在までの訓練の様子です。
刃物の砥ぎや仕込みを学び、自分で仕込んだ鉋で板削りから。



角材削りを経て、丸棒削り。
板削りから丸棒削りまで10日ほどかかります。
工作室は刃物で材を削る音、鉋を調整する音であふれており、訓練生の真剣さが伝わってきます。



鋸・鑿加工のための、墨付けの指導中です。
実技の指導は、実践しながら詳しい説明があるので、とても分かりやすく、分からないことはその場で質問できる環境です。



鋸や鑿も使用して、仕口工作を実践。
今年度は7種の仕口を学びました。



6月中旬には枡の制作に取り掛かっていました。四方の角それぞれ、継手の異なる枡を製作して、4種の継ぎ手加工について学びます。



最終日には、続々と出来上がった枡が提出されていました。道具を使い始めて1ヶ月少々です。目まぐるしい成長！



塗装の実習も行っています。手板を用いた塗装実習の後に、実物の製品に塗装を施します。昨年度の訓練生が製作していた整理箱に、塗装しているところです。とても艶がある仕上がりになっていました。



技能検定演習課題にも取り組み、入校からこれまでに手加工をみっちり学びました。そろそろ機械についても学びはじめ、いよいよ家具製作へ突入です。